

令和3年6月度 防災リーダー定例会議事

実施月日・場所	令和3年6月20日(日) 9:00~11:00 柳島自治会館
参加人員	本村9名・海岸8名 計17名

1・報告事項

- 本部長の今澤美徳が体調不良の為、副会長の杉寄孝代行務める。当面副本部長の高山和茂さんが代行業務を行います。
- 令和3年度災害対策地区防災拠点打合せ会の説明(5月26日、柳島小学校で実施)
  - ・避難勧告の廃止、避難指示の一本化の説明(後日冊子配布)
  - ・避難所運営マニュアル(柳島小学校:避難所運営マニュアル):当日回覧で確認  
配布:「避難所の開設・運営の基本方針」 避難者受入れ時の自主防災組織の役割を明記
- 湘南地区防災訓練の実施
  - ・日時:令和3年9月25日(土)9:00より ・場所:柳島小学校
  - ・参加者:自主防災組織役員 ・防災リーダー(参加対象は全員:次回参加を募ります)  
※参加人数を制限し、必要最低限の人数で実施予定。
  - ・訓練内容 ①情報受伝達訓練 + 被害状況等収集訓練  
②防災シュミレーションゲーム クロスロード  
今後訓練の詳細が分かり次第報告する。
- チェンソー(エンジン式)1台、ライフジャケット10着購入済
  - ・柳島海岸自主防災倉庫に保管
  - ・自主防災対策補助金申請済(29,800円)
- 7月18日(日) 防災倉庫機材の棚卸実施
- 優先要支援者の避難行動支援について
  - ・優先要支援者名簿配布して、情報の共有化を図る。本日配布
  - ・役員と民生委員で優先要支援者宅を回り、生の声を聴く。  
「6月28日(月)本村実施。6月30日(水)海岸を予定」
  - ・役員が防災リーダーに状況をまとめ、説明し進めていく。
  - ・前回のガイドラインを含め、要支援者の避難誘導を考えて行く。

2・決定事項

- 防災リーダー定例会 開始9:30~11:00  
9月19日(日)より実施  
自治会役員が参加し、防災リーダーと情報を共有するため。

3・配布資料

- 台風大雨時の民生委員活動地域と柳島自主防災防災リーダー照合 表
- 冊子:自助・共助・公助の連携による要支援者の避難のための取組
- 避難所の開設・運営の基本方針

4・検討事項

- 柳島自主防災訓練の実施内容

次月定例会	令和3年7月18日(日)	9:00~11:00	本村・海岸個別開催 防災倉庫機材棚卸実施
-------	--------------	------------	-------------------------

# 令和3年5月20日から

ひなんしじ

# 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

# 避難勧告は廃止です

警戒レベル

4

警戒レベル

新たな避難情報等

5



災害発生  
又は切迫

きんきゅうあんぜんかくほ  
**緊急安全確保**※1

これまでの避難情報等

**災害発生情報**

(発生を確認したときに発令)

~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~

4



災害の  
おそれ高い

ひなんしじ  
**避難指示**※2

・避難指示(緊急)  
・避難勧告

3



災害の  
おそれあり

こうれいしゃとうひなん  
**高齢者等避難**※3

避難準備・  
高齢者等避難開始

2



気象状況悪化

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

1



今後気象状況  
悪化のおそれ

早期注意情報  
(気象庁)

早期注意情報  
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、

すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。

警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されます。

これからは、

警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる

高齢者や障害のある人は、

警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



### 行政が指定した避難場所 への立退き避難

### 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



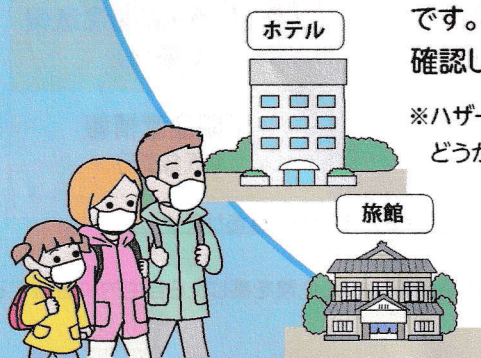
普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館 への立退き避難

### 屋内安全確保

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

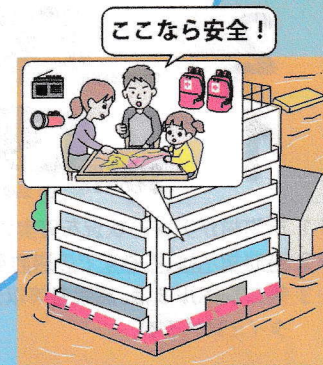
※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認することが必要です。

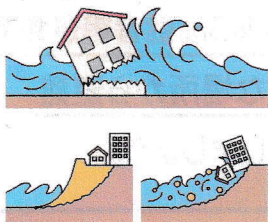
想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります

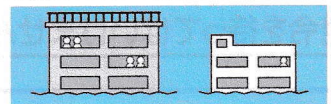
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 3-4階 | 5m~10m未満<br>(3階床上浸水~4階軒下浸水) |
| 2階   | 3m~5m未満<br>(2階床上~軒下浸水)      |
| 1階   | 0.5m~3m未満<br>(1階床上~軒下浸水)    |
| 1階床下 | 0.5m未満(1階床下浸水)              |

③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。